演習Ⅰ

科目ナンバリング　SEM-301
必修　　2単位

落合　　亮

1. 授業の概要（ねらい）

日本とその他アジア諸国との経済的結びつきは近年高まっており、日本経済について、アジア諸国との経済的・政治的関係を無視して論じることはできない。日本とアジアの経済関係を考えるためには、まずアジア諸国の基本的な経済状況について理解する必要がある。このような知識は、アジアとのビジネスを行っている企業が多い昨今の状況を鑑みれば、今後社会で活躍する上で有用になるものと思われる。

本演習においては、アジア経済に関する基礎知識を深めることを目的とする。特に、「演習Ⅰ」においては、横断的な開発テーマ、すなわちアジア諸国の経済発展の概要、貧困・分配、アジア通貨危機、域内協力、開発における政府の役割等を学び、「演習Ⅱ」においては、各国の経済事情について学ぶ。

なお、授業は、共通のテキストに基づく輪読形式を取る。

2. 授業の到達目標

アジア経済や開発問題に関する基礎知識を身につけることに加え、他人への説明を通してプレゼンテーション・スキルやレポート作成能力も磨く。

3. 成績評価の方法および基準

主に担当テーマに関するプレゼンテーションの結果（60%）と、期末のレポートの結果（40%）に基づいて評価する。また、ディスカッションへの参加状況なども考慮する。

4. 教科書・参考文献

教科書
以下のテキストを用いる予定だが、初回の授業にて説明する。
黒崎 卓、栗田 匡相　『ストーリーで学ぶ開発経済学ー途上国の暮らしを考える』2016年　有斐閣
末廣昭　『新興アジア経済論　キャッチアップを超えて』2014年　岩波書店

5. 準備学修の内容

自分の担当部分以外の章についても、事前に読み込むこと。関心のあるテーマについては、幅広く書籍に当たること。また、毎日、新聞（特に国際欄）には目を通すこと。

6. その他履修上の注意事項

ディスカッションには積極的に参加すること。プレゼンテーションの際には、上記テキストの内容のみではなく、他の関連文献にも当たることを通して、更なる付加価値を加えるとなお良い。

7. 授業内容

【第1回】　歴史の中のアジア
【第2回】　世界の中のアジア
【第3回】　アジア化するアジア
【第4回】　アジアの開発経験
【第5回】　アジア開発途上国の持続可能な成長
【第6回】　アジアの経済発展と情報通信技術
【第7回】　アジアにおける貧困、分配及び成長
【第8回】　アジアにおける金融部門の発展と危機
【第9回】　アジア域内の地域協力の現状
【第10回】　アジアの開発における政府の役割
【第11回】　キャッチアップ論
【第12回】　アジアの企業構造
【第13回】　中所得国の罠
【第14回】　人口転換と社会変動
【第15回】　格差の拡大